

計画段階評価について  
山陰道（はわい～だいえいとうはく大栄東伯）  
第2回 説明資料

平成26年6月2日

国土交通省 中国地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 第1回意見聴取の結果
3. 対応方針の検討
4. 計画段階評価手続きの進め方
5. 第2回アンケート案

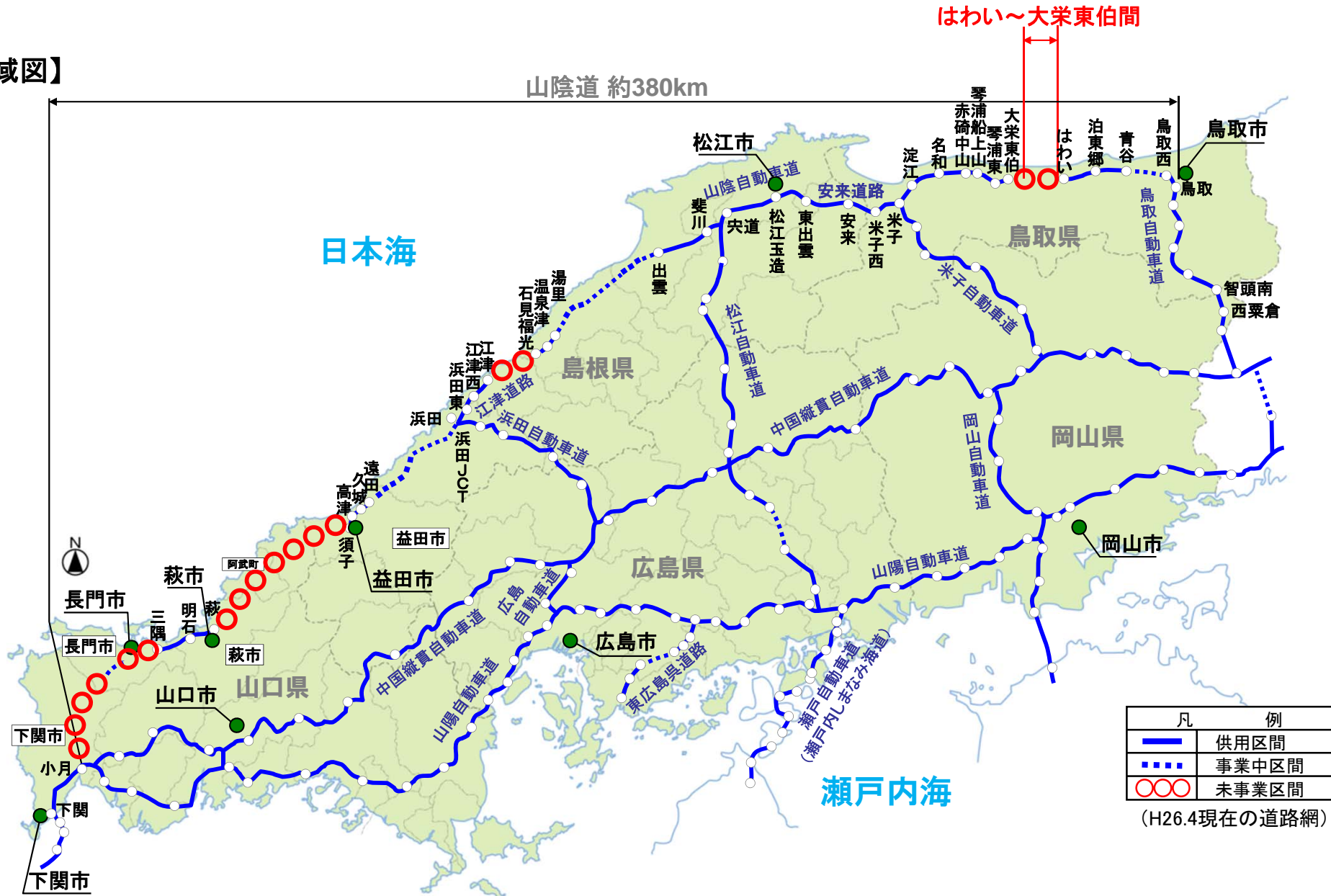
# 1. 計画段階評価の検討の流れ

# 1-1. 中国地方の高規格幹線道路網

○当該区間は、日本海国土軸の一部を担う山陰道の一部。

○沿線の鳥取県中部地域は、鳥取県のほぼ中間に位置し、県庁所在地の鳥取市まで約50km。

【広域図】



## 1-2. 計画段階評価の検討の流れ

### 計画段階評価の検討の流れ

- ◆ 地域および道路、交通の現状と課題の把握
- ◆ 地域の課題に対する意見聴取方法

意見聴取(第1回)

- ◆ 地域意見の把握
- ◆ 比較案の検討
- ◆ 対策にかかる意見聴取方法

意見聴取(第2回)

対策方針案の検討  
(※意見聴取結果、課題の大きさ、及び緊急性を踏まえ検討)

〔中国地方小委員会〕

- ・ 地域および道路、交通の現状と課題について審議

〔中国地方小委員会〕

- ・ 地域意見を踏まえた比較案の検討の観点
- ・ 比較案に対する意見聴取の方法・内容について審議

〔中国地方小委員会〕

- ・ 地域の意見を踏まえ、現状の課題に対する対策方針案について審議

## 2. 第1回意見聴取の結果

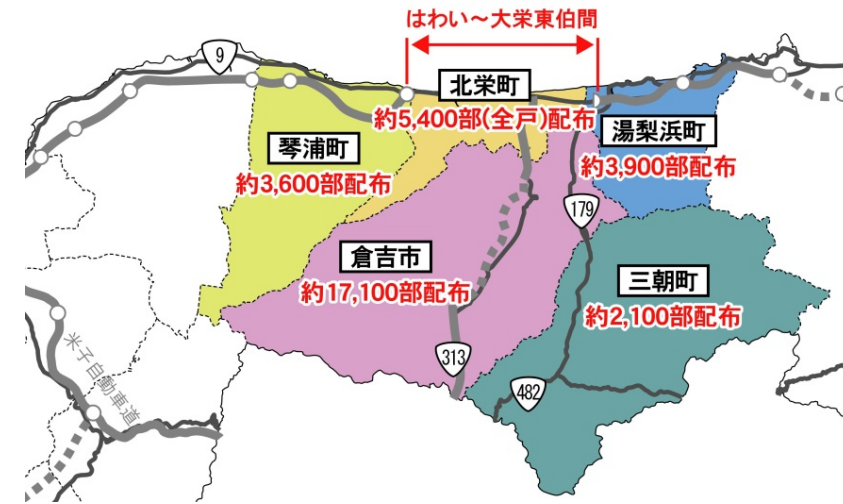
# 2. 第1回意見聴取の結果

## 1) 意見聴取の概要

### 1) 意見聴取の項目と活用方針

課題・政策目標(案) に対する **意見を伺う。**

意見聴取の項目		把握する意見及び結果の活用
ヒアリング	行政や業界への意見聴取	課題、政策目標、道路整備の必要性に関し、行政や業界への意見聴取を行う。 行政又は業界との認識の整合性の確認をする。
アンケート	現況の問題点・解決すべき課題	国道9号の現状について、回答者の認識を確認し、回答者の考える課題を把握する。
	政策目標	道路を計画するにあたって、回答者の考える政策目標及びその優先度について把握する。
	その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。



### 2) 意見聴取の方法と対象者

区分	実施項目	実施期間	回答方法	実施概要	回答状況(回収率)		
アンケート	地域住民	平成26年1月23日(木)～平成26年2月17日(月)	郵送回収	倉吉市:一部配布	約 17,100 部	約 3,200 部	19%
				湯梨浜町:一部配布	約 3,900 部	約 1,000 部	26%
				琴浦町:一部配布	約 3,600 部	約 900 部	25%
				北栄町:全戸配布	約 5,400 部	約 1,500 部	28%
				三朝町:一部配布	約 2,100 部	約 400 部	19%
				合計	約 32,100 部	約 7,000 部	22%
	企業及び団体	平成26年1月23日(木)～平成26年2月17日(月)	郵送回収	県内企業:従業員数5名以上の企業・事業所 県外企業:H24の社名読取調査で確認された企業及びトラック協会からの紹介	約 3,800 部 約 600 部	約 1,400 部 約 100 部	37% 17%
道路利用者	常設	平成26年1月23日(木)～平成26年2月17日(月)	郵送回収	道の駅、主要観光地及び自治体に常設(25箇所)	約 2,500 部	約 800 部	32%
	ヒアリング	平成26年1月28～29日～平成26年2月1～2日	ヒアリング	道の駅等(物産館ことうら、道の駅大栄、道の駅北条公園、道の駅はわい)	約 1,400 部	約 1,400 部	100%
	WEB	平成26年1月23日(木)～平成26年1月31日(金)	WEB	県内(800人)、県外(400人)	約 1,200 部	約 1,200 部	100%
	小計				約 5,100 部	約 3,400 部	67%
合計					約 41,600 部	約 11,900 部	29%
ヒアリング	広域	平成26年2月4日(火)～平成26年2月21日(金)	ヒアリング	関係団体にヒアリングを実施 ①トラック協会(鳥取、島根、岡山、山口、兵庫、福岡、大阪) ②バス会社(鳥取、島根、岡山) ③観光会社(鳥根、鳥取、岡山) ④農協(島根)			
	地域	平成26年2月4日(火)～平成26年2月21日(金)		沿線自治体等にヒアリングを実施 ①自治体(鳥取県、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町) ②警察署(倉吉、八橋) ③農協(JA鳥取中央) ④商工会議所(倉吉、三朝、湯梨浜、琴浦、北栄) ⑤観光協会(倉吉、三朝、湯梨浜、琴浦、北栄) ⑥消防(鳥取県中部ふるさと広域連合消防局、東伯消防署)			

## 2. 第1回意見聴取の結果

### 1) 意見聴取の概要

### 3) 意見聴取(アンケート)内容

#### 質問事項

○現況の問題点・解消すべき課題

○政策目標

○その他自由意見

#### 質問1 国道9号(はわい~大栄東伯間)に関する現在の問題点や解消すべき課題について

質問1 はわい~大栄東伯間の国道9号には、どのような交通課題があると思いますか？  
以下の①~⑦の課題について、5段階評価してください。

〈5段階評価〉 5.強く思う 4.やや思う 3.どちらとも言えない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない

- ①前後の高速道路(山陰道)が完成しているが、この区間が途切れているため走りにくい
- ②災害時に東西を結ぶ高速道路がつながっていないので、通行できるかどうか不安
- ③通行止めの際に、迂回路がないため不便
- ④信号のない交差点を出入りする車両が多く危険
- ⑤交通事故が多く危険
- ⑥遅い車が多く、一定の速度での走行が阻害されている
- ⑦通過交通と地域内交通が混在していて走りにくく危険
- ⑧その他(自由意見)

#### 質問2 地域の道路に求められる機能・役割について

質問2 この地域の道路を利用する際に、はわい~大栄東伯間にはどのような道路機能が重要だと思いますか？地域の将来(10~20年後)も踏まえ、以下の①~⑥の道路機能について、5段階評価してください。

〈5段階評価〉 5.強く思う 4.やや思う 3.どちらとも言えない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない

- ①通過交通と地域内交通が分離され、安全勝円滑に通行できること
- ②交通事故を少なくできること
- ③災害に備え、広域的な支援ルートが確保できること
- ④港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送が円滑にできること
- ⑤救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること
- ⑥観光や地域間交流を促進できること
- ⑦その他(自由意見)

#### 質問3 その他

質問3 その他、この区間の道路整備の必要性や今後の方向性などについて、ご意見がありましたらご自由にお書き下さい【自由意見】

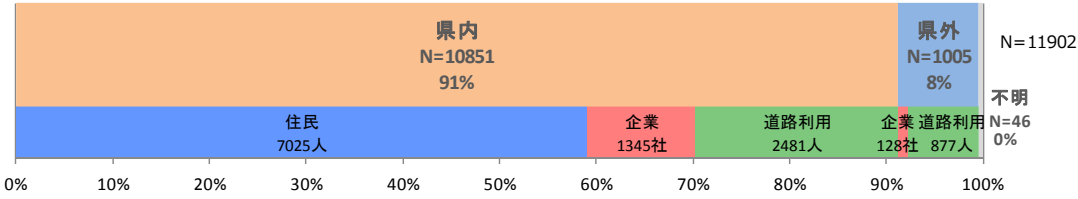
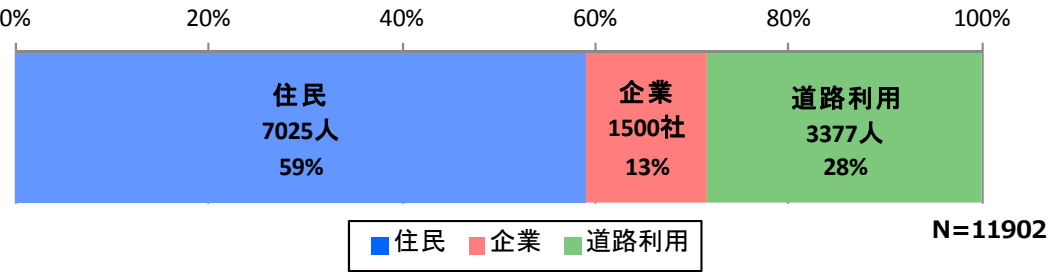


# 2. 第1回意見聴取の結果

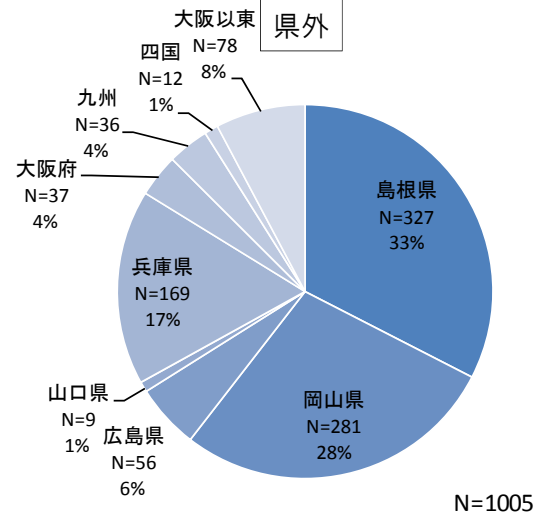
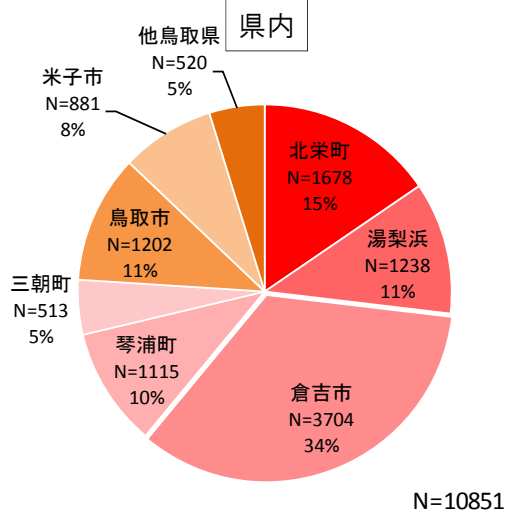
## 2) 属性

- 住民約7,000人、企業約1,500社、道路利用者約3,400人から意見聴取を実施。
- 住民の約8割が当該区間(はわい～大栄東伯)を「月2～3回以上利用している」と回答。

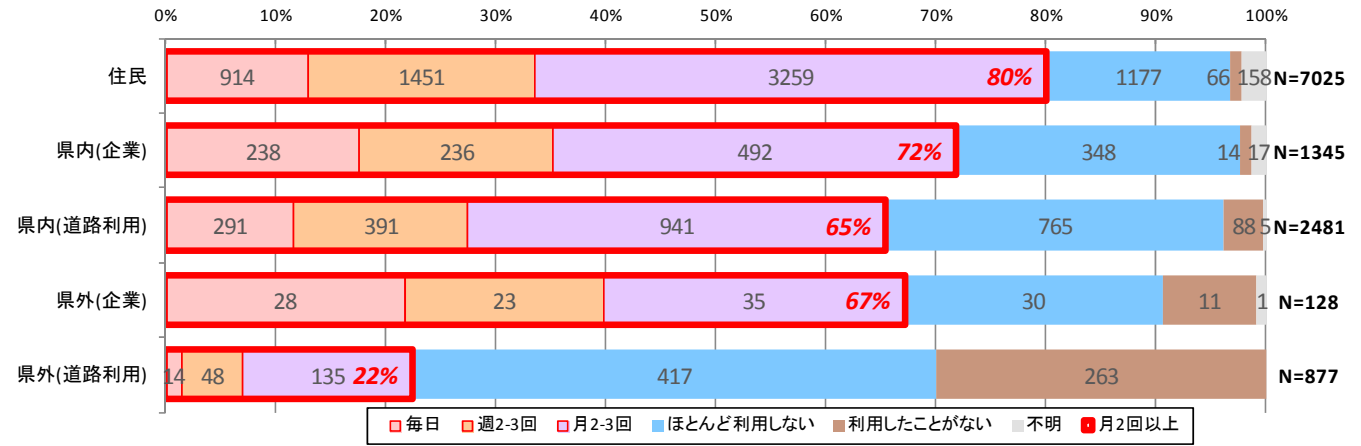
### アンケート回収状況



### 回答者住所



### 現在の国道9号(はわい～大栄東伯)の利用頻度



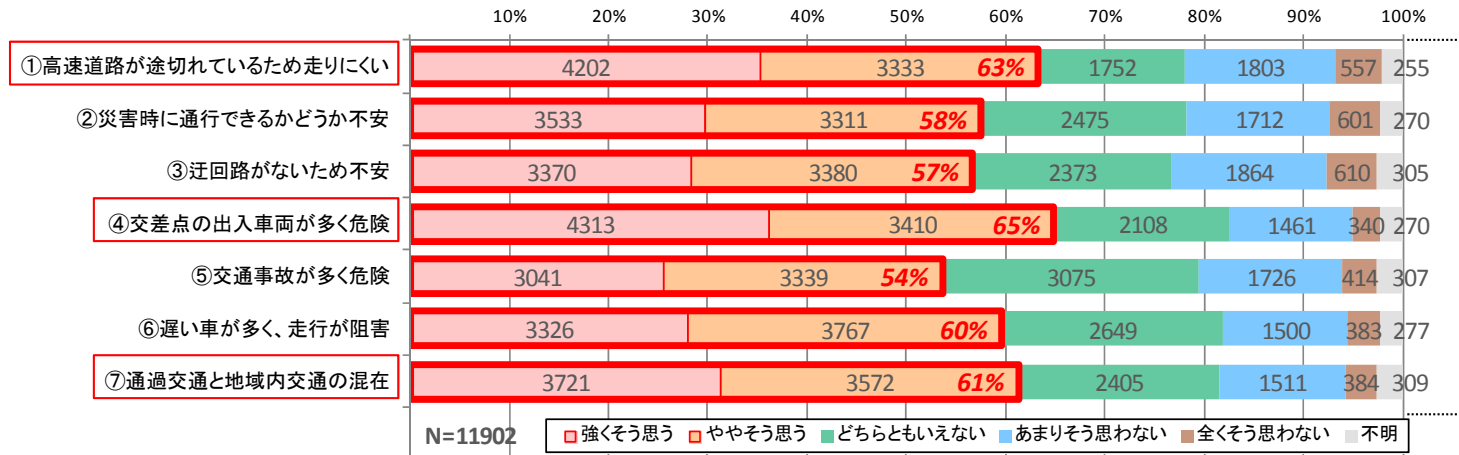
## 2. 第1回意見聴取の結果

### 3) 交通課題①

- 交差点の出入り車両や通過交通の混在による安全性の問題や、高速道路が不連続などといった交通課題に対する意見が多い。

#### 交通課題

Q:はわい～大栄東伯間の国道9号には、どのような交通課題があると思いますか？5段階で評価してください。



#### 主な意見

- ・前後の高速道路を降りたら速度感覚が違うので注意が必要。
- ・この区間だけ高速道路が途切れていて走りにくい。
- ・災害時に山陰道(自動車専用道路)と国道9号の2ルートが必要と感じている。
- ・ほとんど対面通行の道路なので事故とか災害のときが心配。
- ・迂回は旧道のみで不便。
- ・事故があった場合、迂回ルートがなくなる。
- ・一般車の進入や突然の右左折であぶない。
- ・信号のない交差点で入ってくる車にヒヤッとすることが何度かある。
- ・とても危険な場面を何度も見ている。
- ・農業用の車が遅いのでスムーズな走行ができないことがある。
- ・低速でかつ危険な走行が多く、円滑な通行ができないことが多々ある。
- ・生活・産業と利用目的の異なるものが混在。
- ・事故が多い原因は生活交通と高速の通過交通との混合が最大であると思う。

## 2. 第1回意見聴取の結果

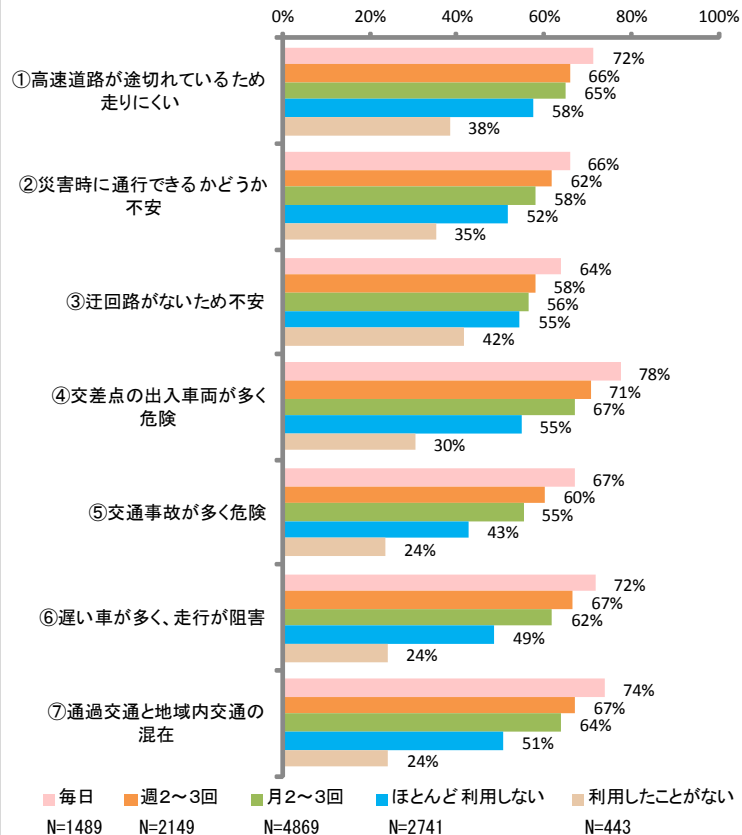
### 3) 交通課題②

- 利用頻度が高くなるほど、課題に対する賛同割合は高い傾向。
- 高頻度利用者(毎日利用)のうち、中部地域居住者・所在企業等とそれ以外でみると、中部地域の方が課題認識が高く、住民・企業別では住民の方が課題認識が高い。

#### 交通課題

##### ■ 利用頻度別の賛同意見割合

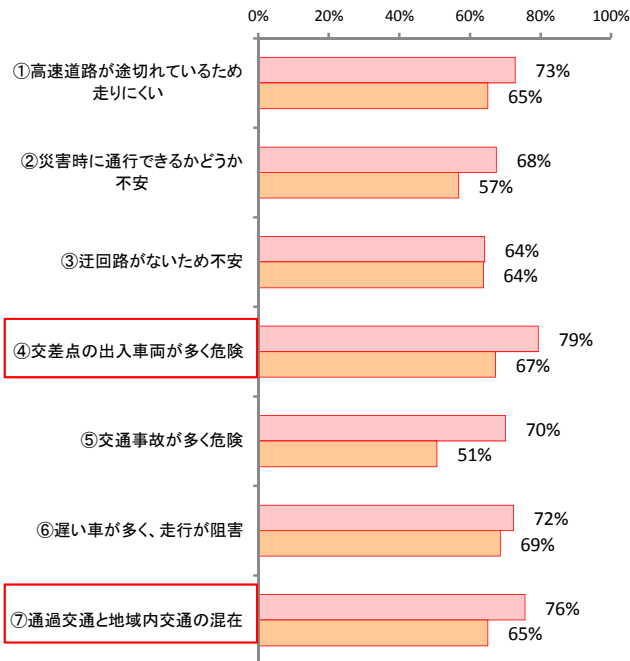
・利用頻度が高いほど賛同割合は高い傾向。



##### ■ 高頻度(毎日)利用者における中部地域居住者・所在企業等とそれ以外の賛同意見割合

・全体的に中部地域の方が高く、特に「④交差点の出入車両が多く危険」、「⑦通過交通と地域内交通の混在」が約8割。

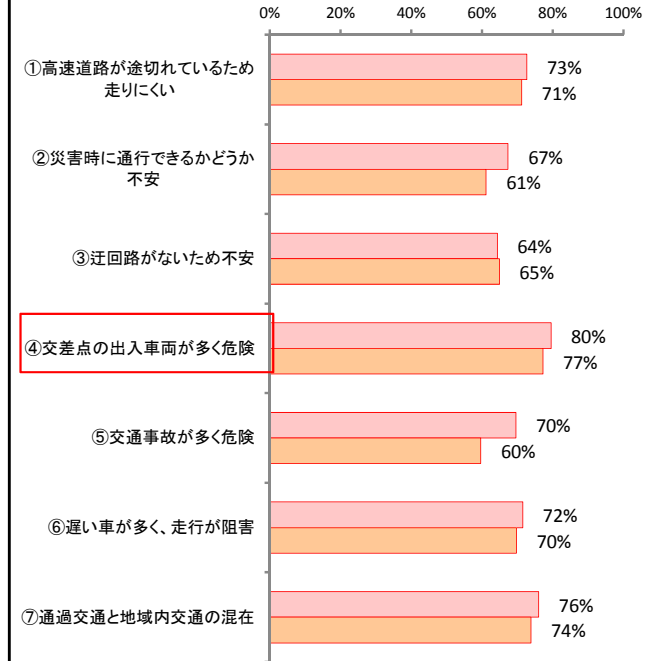
■ 中部 ■ 中部以外  
N=1,256 N=229



##### ■ 高頻度(毎日)利用者における住民と企業別の賛同意見割合

・全体的に住民の方が高い。「④交差点の出入車両が多く危険」については住民・企業ともに約8割。

■ 住民 ■ 企業  
N=914 N=268



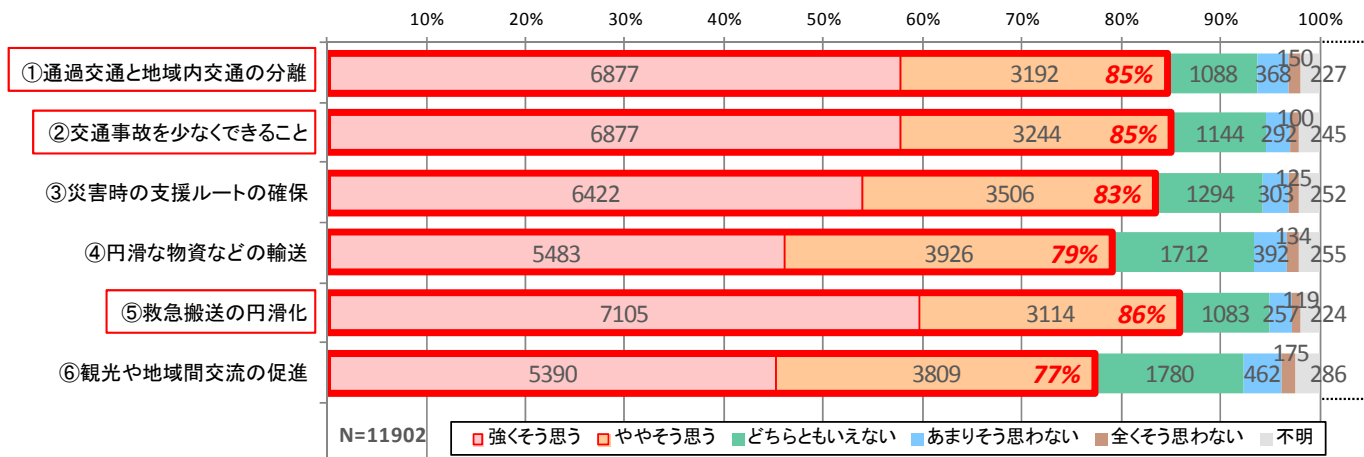
## 2. 第1回意見聴取の結果

### 4) 道路機能①

- 通過交通と地域内交通を分離して交通事故を少なくする道路機能や高速道路ネットワークを確保することにより、医療、物流、観光など移動の快適性・定時性などの道路機能を重要としている意見が多い。

#### 必要とする道路機能

Q:この地域の道路を利用する際に、はわい～大栄東伯間にはどのような道路機能が重要だと思いますか？地域の将来(10～20年後)も踏まえ、5段階で評価してください。



#### 主な意見

- ・通過交通と地域内交通を分離する方が良いと思う。
- ・生活道路と幹線道路が明確に分離され、安全・安定的な通行ができることが第一。
- ・高速道路と一般道の区分けをしっかりと、交通事故の減少を望む。
- ・事故のない安心・安全に走行できる山陰道を早く完成するように。
- ・神戸の災害の時に国道9号に車が集中した。山陽側の迂回路として早急に整備してほしい。
- ・災害や通行止めの時、大型車の迂回路の道路機能。
- ・道路はネットワークを形成してこそ最大の効果を発揮する。
- ・目的地に短時間で着くため余裕ができる。
- ・倉吉市から鳥取市、米子市への救急最短搬送を行うこと。
- ・安全・安心な救急搬送のため早急に実現を願う。
- ・地域の発展は道路の整備が一番。
- ・高速道路ネットワークの不連続を解消することで、特に物流時間の短縮及び観光客や人の移動を円滑にする。

## 2. 第1回意見聴取の結果

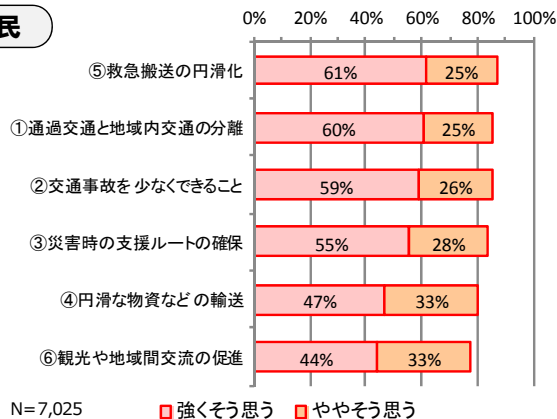
### 4) 道路機能②

- いずれの属性においても、必要機能の各項目について賛同意見割合は約8割。住民と企業の上位は「⑤救急搬送の円滑化」、「①通過交通と地域内交通の分離」となっており、道路利用者では「②交通事故を少なくできること」、「⑤救急搬送の円滑化」となっている。
- 居住地・所在地別では、中部地域とそれ以外でも同様な傾向を示しており、両者とも「⑤救急搬送の円滑化」、「②交通事故を少なくできること」の声が多い。

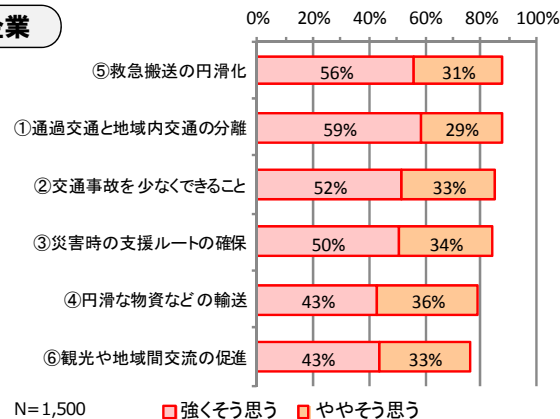
#### 必要とする道路機能

##### ■属性別の賛同意見割合(降順)

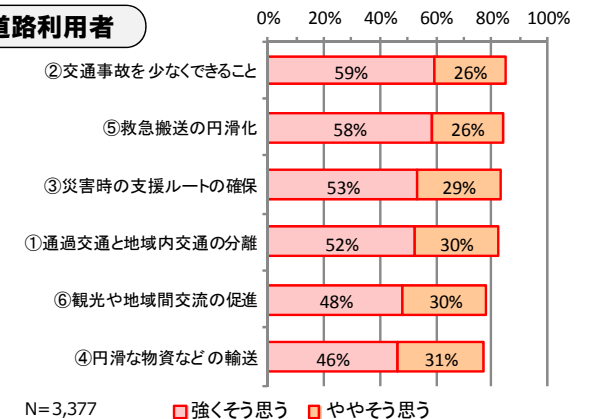
###### 住民



###### 企業

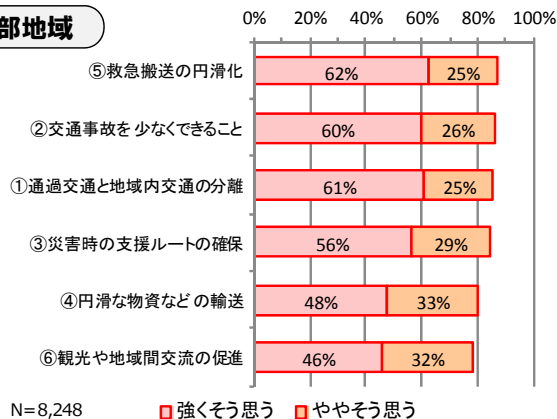


###### 道路利用者

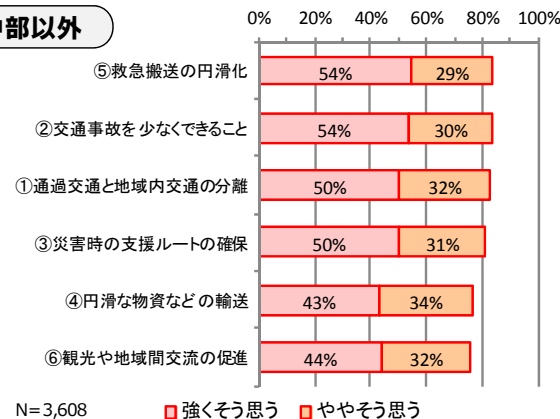


##### ■中部地域居住地・所在地とそれ以外居住地・所在地別の賛同意見割合(降順)

###### 中部地域



###### 中部以外



## 2. 第1回意見聴取の結果

### 5) 自由意見

- 地域の発展、安全性の向上や中山名和道路の開通効果の実感等により、早期開通を求める声が寄せられる。
- 一方で、現状のままで十分、地域が衰退する、整備の優先順位を考えてほしいといった意見も寄せられている。

#### 自由意見

##### 主な意見

- ・交通インフラの整備は地域の活性化上、国土の均衡的な発展を促進する。早くはわい～大栄東伯間の整備を望む。
- ・地元住民の安全を第一に考えたとき、この区間の道路整備は必要と考える。
- ・中山名和がつながり、大変便利になった。はわい～大栄東伯間も早期に完成するよう期待する。
- ・中部は鳥取県の通過点かもしれませんが、道路(自動車道)がつながらないとますます取り残されていく。
- ・今は生活に必要なこの道が一本しかなく、天災や事故で道がとまると非常につらいです。早くもう一本つないでほしい。
- ・山陰道が高速道路として途切れている方が問題。現状、直線道路でも高速道路ではないため、スピードダウンして走行しなければならない不便さがある。このままで良いはずない。
- ・東西を結ぶ幹線道路を2本設定。1本は高速道路、1本は生活道路、それを生かす支線道路の充実を。
- ・災害に備え、広域的な支援ルート確保、救援物資の迅速な輸送が不可欠である。
- ・現在、それほど不自由さ不便さは感じていないので、整備を急ぐ必要はない。
- ・公共事業の無駄遣いになるため、この区間はそのままが良いと思う。
- ・この区間に限らず、米子～鳥取間を安全に走行できる自動車道の整備は鳥取県の経済活性化のためにも必須だと思う。しかし自動車道により一般道区間の経済がさびれていくことは問題。町づくりとセットの道路整備をしてほしい。

## 2. 第1回意見聴取の結果

### 6) 道路の課題に関するヒアリング①

- 通過交通と地域内交通の混在による危険性などの課題に関する意見。
- 農耕車の走行(横断)や無信号交差点からの一般交通の飛び出しによる救急搬送時の課題に関する意見。
- 高速道路が整備されていないことによる、産業や観光の課題に関する意見。

区分(政策目標)		主な意見
安全性の向上	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県下の大動脈である国道9号のこのわずかな区間で、事故が多いことに、頭を悩ましている。(倉吉警察署)</li> <li>・信号のない交差点では、農業用の車両等が混在(横断)しているため、一般車や農業車の両方にとって危険である。(倉吉商工会議所、北栄町商工会、鳥取県)</li> <li>・両端が自動車専用道路なので、同じような感覚で走行してしまう。(JA鳥取中央)</li> <li>・生活交通と物流活動といった通過交通が混在しており、住民の安全が確保されていない。(北栄町商工会)</li> <li>・交差点も多く、通過交通と地域内交通との事故の危険性が危惧される。(鳥取県トラック協会)</li> <li>・農家の方から国道9号を横断することは「極めて危険が多い」と聞いている。(JA鳥取中央)</li> <li>・観光客を送迎している旅館の運転手は、国道9号の農業車両の飛び出しが多くストレスを感じている。(湯梨浜町商工会)</li> </ul>
	機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな交通(生活交通、通過交通等)を分離できるような道路構造にして、利用者が選択できるようにすることが理想。(倉吉警察署、八橋警察署、倉吉商工会議所、鳥取県トラック協会、湯梨浜町)</li> <li>・高速道路として整備し、高速車両と一般車両の完全分離。(JA鳥取中央)</li> <li>・生活交通や通過交通といった目的に応じて利用できる道路が必要。(北栄町商工会)</li> </ul>
救急医療機関への速達性、確実性の確保	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農耕車が走行(横断)するため、救急搬送時に必要以上に注意が必要となっている。(鳥取県中部ふるさと広域連合)</li> <li>・ドクターヘリは搬送時間が圧倒的に小さいが、天気によって左右されることもあるため、陸路の緊急輸送路は必要。(鳥取県中部ふるさと広域連合)</li> <li>・救急搬送時に信号のない交差点から一般交通の飛び出しなどがあるため、一般交通との接触の危険性により運転手はストレスを感じている。(東伯消防署)</li> </ul>
	機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬送時の患者(搬送時間の短縮、安静搬送時の処置が可能)のために自動車専用道路は必要と考える。中山・名和道路の開通により自動車専用道路の効果を実感している。(鳥取県中部ふるさと広域連合、東伯消防署)</li> <li>・自動車専用道路が整備されれば、患者や運転手のストレスの軽減に効果がある。(東伯消防署)</li> </ul>
産業の活性化	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路がない為に、到着時間が読みにくく、企業活動においてハンデとなる。(北栄町商工会)</li> <li>・時間短縮により、通勤圏が広がると人材の確保が可能となることと、優秀な人材を集めやすくなる。(北栄町商工会、鳥取県)</li> <li>・鳥取県中部地域から鳥取市が通勤圏となれば定住に寄与する。(倉吉商工会議所、倉吉市、鳥取県、湯梨浜町商工会、三朝町)</li> </ul>
	機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流が良くなれば企業誘致もしやすいと考えるため、倉吉から東西方向への動線として高速道路がつながる効果に期待している。また、その際には結節する位置も重要となる。(倉吉商工会議所)</li> <li>・高速道路はつながっていないと意味がない。(鳥取県)</li> </ul>

## 2. 第1回意見聴取の結果

### 6) 道路の課題に関するヒアリング②

- 高速道路が整備されていないことによる、産業や観光の課題に関する意見。
- 高速ネットワークが確保されていないことによる、災害時等の課題に関する意見。

区分(政策目標)	主な意見	
観光振興の促進	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県は、途中高速道路が途切れているため、ツアーを企画する際に時間が読みにくく、躊躇することがある。(旅行会社)</li> <li>・観光施設の場所について問い合わせがあった場合、高速道路のICから〇分といった案内ができず、ハンデを感じる。(北栄町商工会、倉吉市)</li> <li>・時間短縮だけではなく、高速道路がつながっていることが重要。(湯梨浜町観光協会、北栄町、鳥取中部ふるさと連合)</li> </ul>
	機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転する際にストレス(横断車両、低速走行車)がなく、案内が容易で安全な高速道路の整備が必要。(倉吉観光マイルス協会)</li> <li>・観光客に来てもらうためには、道路が分かり易いことが一番重要であり、そのためにも高速道路として整備することが必須。(三朝町)</li> <li>・観光客の安全面からも、一般道路との分離は重要である。(湯梨浜町観光協会)</li> <li>・関西圏からの移動時間が短縮されることにより、関西からの近さを全県的にPRすることができる。(鳥取県)</li> </ul>
通行止め時に機能するネットワークの確保	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通行止めの際、県道は国道9号の迂回路としての機能は弱いと感じている。(鳥取県中部ふるさと広域連合)</li> <li>・国道9号が不通の場合、県道に交通が集中するため、有事の際の円滑な交通処理ができない。(鳥取県)</li> <li>・積雪、事故等で通行止め時には、運行予定がくるうことが危惧される。(バス会社)</li> </ul>
	機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車専用道路をメイン道路として、現国道9号を迂回路(サブ道路)として使用する考え方が必要。(鳥取県中部ふるさと広域連合)</li> <li>・山陽側と同様に山陰側にも連続する高規格道路は必要。阪神大震災時には山陽側の迂回路として機能している。(倉吉商工会議所)</li> <li>・災害時には、自動車専用道路でつながっているということが重要である。(琴浦町)</li> <li>・鳥取県その他の区間と同様に、山陰道と国道9号の2路線を第一次緊急輸送道路として指定することができれば、1路線が途絶しても災害時の物資輸送や人材派遣が可能となるため、高速道路としての整備が必要。(鳥取県)</li> <li>・通行止め時の大型の迂回路の確保が必要。(バス会社)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰道が全線整備されると、物流拠点が再編される可能性がある。(例えば、岡山県北部に拠点がある事業者が鳥取県内に拠点を移動する等)(鳥取県トラック協会)</li> <li>・高速道路で整備することは重要だが、通過するだけでは街が廃れてしまうので適度な間隔でICが必要。(北栄町)</li> <li>・山陰道の全線整備は、鳥取県の周遊観光の大きな鍵を握っている。(鳥取県内の大周遊ツアーが組みやすくなる)。その際は、観光施設への連絡性を向上させるためにもJCTやICの設置が必要(鳥取県)</li> <li>・倉吉市や三朝町など、山陰道の沿線に立地していない観光施設へ来てもらうためには、高速道路とあわせてICの設置が必要。(倉吉市商工会議所)</li> <li>・道の駅「大栄」付近の県道由良停車場線(通称:コナン通り)の賑わいを創出するためにも、付近へICの設置が必要。(北栄町商工会)</li> </ul>	



## 2. 第1回意見聴取の結果

### 7) まとめ

#### 交通課題

全回答者の6割以上が

- ・高速道路が途切れているために走りにくい
- ・交差点の出入車両が多く危険
- ・通過交通と地域内交通の混在 と回答している。

高頻度(毎日)利用者になると、7割～8割が同様の回答をしている。

#### 【自由意見・ヒアリング】

- ・信号のない交差点で入ってくる車にヒヤッとすることが何度もある。(住民)
- ・前後の高速道路を降りたら、速度感覚が違うので注意が必要。(住民)
- ・事故が多い原因は、生活交通と高速の通過交通との混合が最大であると思う。(住民)
- ・生活、産業と利用目的の異なるものが混在しており、住民の安全が確保されていない。(北栄町商工会)

#### 地域が道路に求める機能・役割

全回答者の7～8割が

- ・通過交通と地域内交通の分離
- ・交通事故を少なくできること
- ・救急搬送の円滑化 が必要と回答している。

鳥取県中部地域に居住者では、必要と回答する割合が増加する傾向にある。

#### 【自由意見・ヒアリング】

- ・高速道路と一般道の区分けをしっかりと、交通事故の減少を望む。(住民)
- ・災害時に山陰道(自動車専用道路)と国道9号の2ルート必要。(住民)
- ・安全、安心な救急搬送のため早急の実現を願う。(住民)
- ・高速道路ネットワークの不連続を解消することで、特に物流時間の短縮及び観光客や人の移動を円滑にする。(企業)
- ・公共事業の無駄遣いになるため、この区間はそのままで良い。(住民)
- ・現状、不便さを感じていないので整備を急ぐ必要は無い。(住民)

#### まとめ

#### 【意見聴取にて確認された道路の機能・役割】

1. 通過交通と地域内交通の分離、交通事故を少なくできること
2. 救急搬送の円滑化
3. 円滑な物資などの輸送
4. 観光や地域間交流の促進
5. 災害時の支援ルートの確保

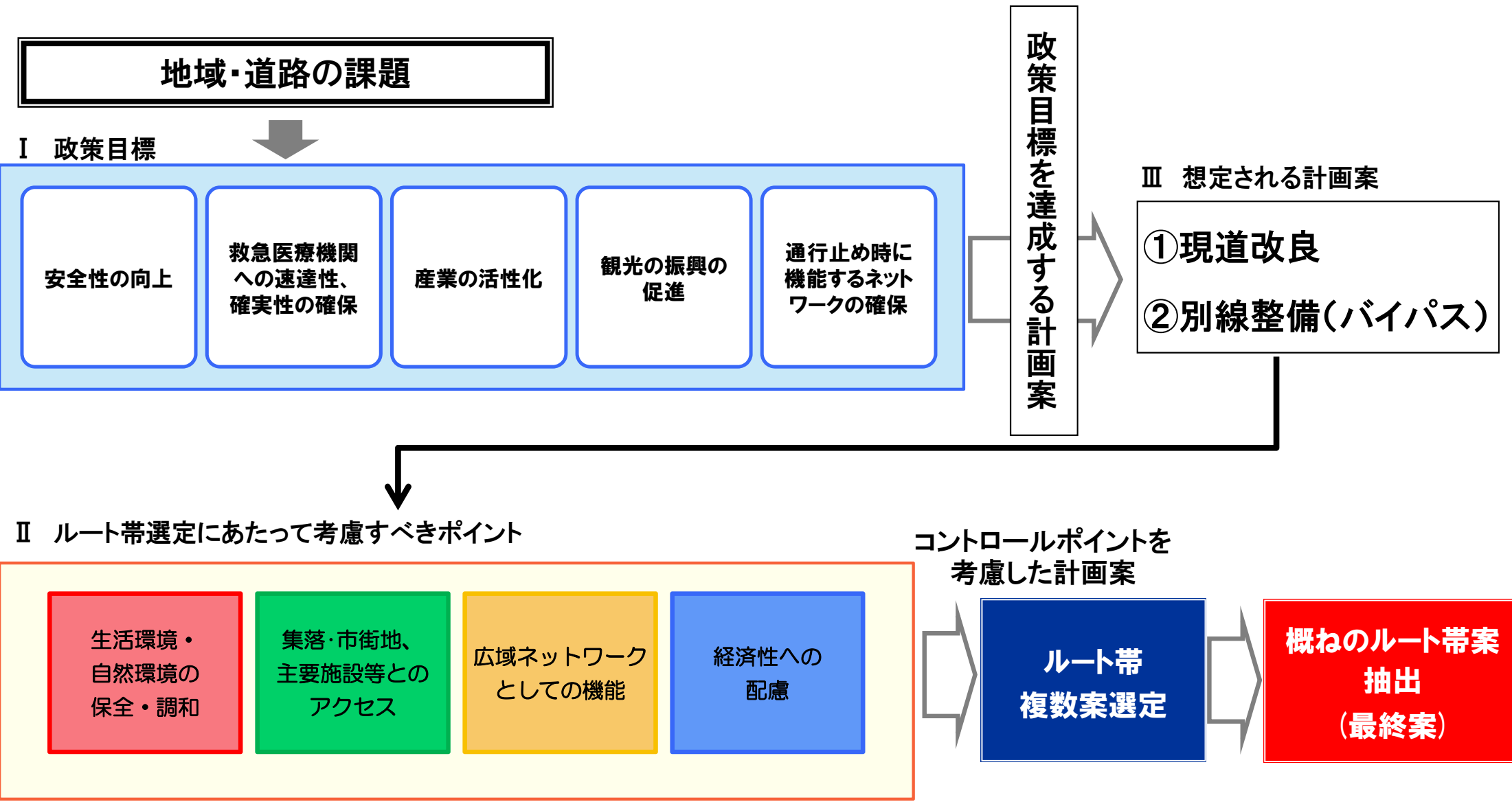
#### 【政策目標】

- ⇒ 安全性の向上
- ⇒ 救急医療機関への速達性、確実性の確保
- ⇒ 産業の活性化
- ⇒ 観光振興の促進
- ⇒ 通行止め時に機能するネットワークの確保

# 3. 対応方針の検討

# 3. 対応方針の検討

- 政策目標を達成するための機能、役割を有する計画案。
- ルート帯選定にあたって考慮すべきポイントを踏まえ、複数のルート帯案を選定。



### 3. 対応方針の検討

#### 1) ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント

- ルートの検討にあたっては、地形・地質条件、生活環境、自然環境、アクセス性、経済性などを考慮する。
- 連絡箇所(インターチェンジ等)は、市街地や集落、主要施設などとのアクセスを考慮する。

生活環境・  
自然環境の  
保全・調和

- 沿線には既存集落及び田畑が連担しており、住民の生活環境保全のため、集落や田畑を分断しないように配慮。

集落・市街地、  
主要施設等との  
アクセス

- 集落や工業団地等の主要施設、幹線道路とのアクセス性に配慮したインター位置等の考慮。

広域ネットワーク  
としての機能

- 産業・観光等の地域振興に寄与する広域ネットワークとしての機能・役割(走行性・代替性等)の考慮。

経済性への配慮

- 道路や河川が横断しており、橋などの構造物が必要になる箇所を除き経済性に優れている土工(盛土・切土)を基本。

### 3. 対応方針の検討

#### 2) 対策案の立案までの流れ

- 地域が道路に求める機能・役割を踏まえた政策目標を達成する対策案の立案までの流れ。

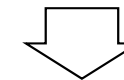
#### 意見聴取を踏まえた道路に求められる機能・役割と政策目標

##### 【意見聴取を踏まえた道路の機能・役割】

- ◇ 通過交通と地域内交通の分離、交通事故を少なくできること
- ◇ 救急搬送の円滑化
- ◇ 円滑な物資などの輸送
- ◇ 観光や地域間交流の促進
- ◇ 災害時の支援ルート確保

##### 【政策目標】

- ⇒ 安全性の向上
- ⇒ 救急医療への速達性、確実性の確保
- ⇒ 産業の活性化
- ⇒ 観光振興の促進
- ⇒ 通行止め時に機能するネットワークの確保



《政策目標を達成する対策案》

##### 《ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント》

- 生活環境・自然環境の保全・調和
- 集落・市街地、主要施設等とのアクセス
- 広域ネットワークとしての機能
- 経済性の配慮

##### 【案1】

現道改良 + 自動車専用道路案

既存計画区間(自動車専用道路)と  
現国道9号を改良(一般道)する案

##### 【案2】

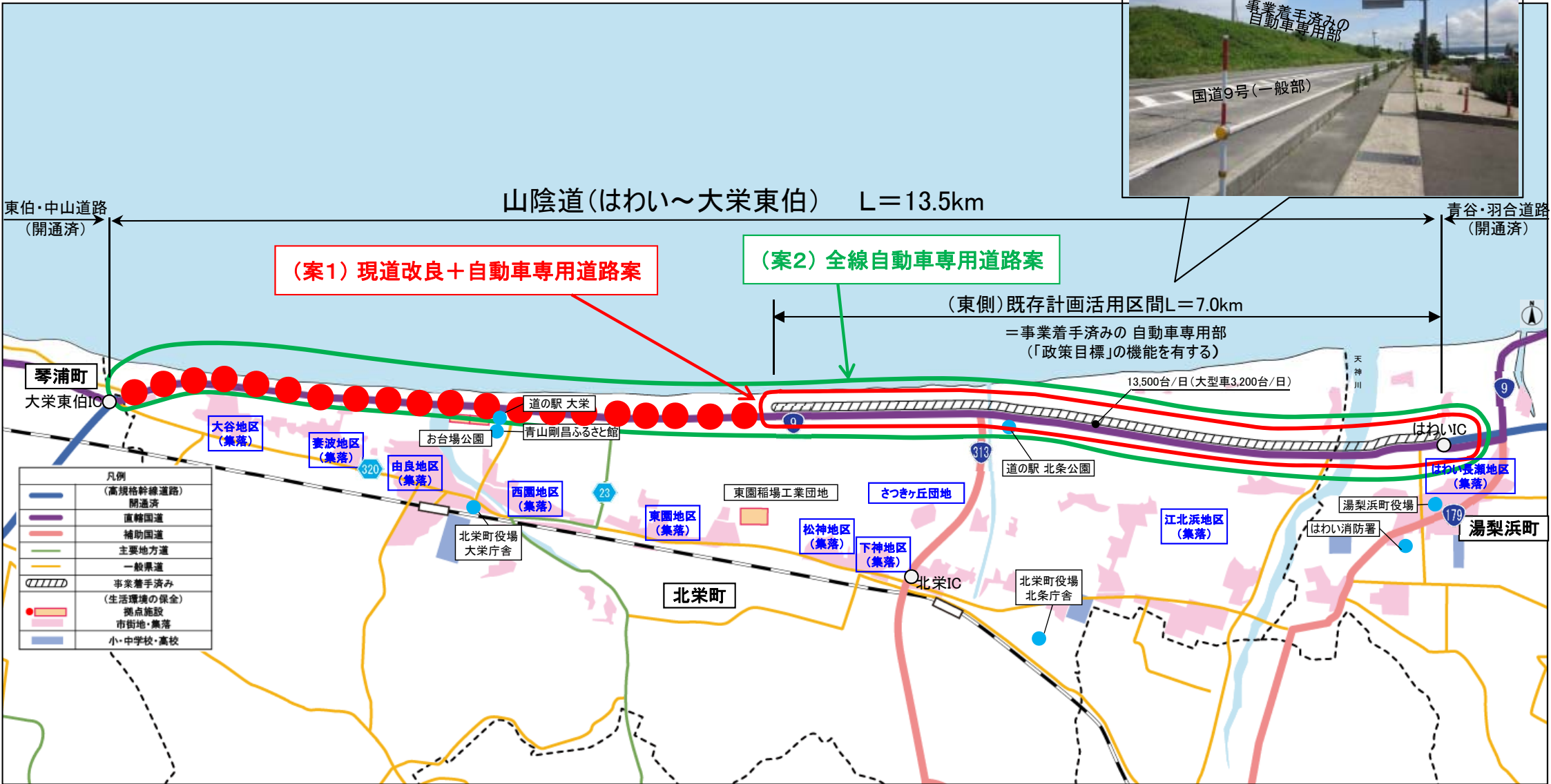
全線自動車専用道路案

全線自動車専用道路とした案

### 3. 対応方針の検討

#### 3) ルート帯案の概要

- 事業着手済みの自動車専用部と現国道9号(一般部)を改良して活用するルート帯と、全線自動車専用道路を整備するルート帯を選定。



### 3. 対応方針の検討

#### 4) ルート帯案の比較・評価

山陰道（はわい～大栄東伯） 複数案の比較・評価（ルート帯の検討）

評価の項目			(案1) 現道改良+自動車専用道路案	(案2) 全線自動車専用道路案
ルート帯の概要			既存計画活用（自動車専用道路）と現国道9号（一般道）を改良する案	全線自動車専用道路とする案
			既存計画区間は80km/hで走行できる自動車専用道路 現国道9号改良区間は60km/hで走行できる一般道	80km/hで走行できる自動車専用道路
「政策目標」に対する評価	安全性の向上	事故が発生する可能性・危険性	事故が発生する可能性がやや高い	事故が発生する可能性は低い
		長距離交通と地域内交通の混在具合	混在する	分離される
	救急医療機関への速達性、確実性の確保	琴浦町から鳥取県立厚生病院（倉吉市）までの所要時間	少し短縮する	案1と大きな違いはない
	産業の活性化	境港へのアクセス時間（鳥取市～境港まで）	少し短縮する	案1と大きな違いはない
		企業誘致への貢献（工業団地（東園稲場団地）から最寄りICまでの距離）	現況と同じ	最寄りのICまでの距離が短縮
		産業・物流交通の走行性	交差点が残るため走行性は劣る	自動車専用道路による別線となるため走行性は良い
	観光振興の促進	主要観光地への立寄りやすさ	現況と同じ	最寄りのICまでの距離が短縮
	通行止め時に機能するネットワークの確保	通行止めの可能性や迂回の必要性	県道（生活街路）への迂回が必要となる	国道9号と自動車専用道路の相互に迂回利用が可能
「ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント」に対する評価	生活環境・自然環境の保全・調和	日本海の眺望等、自然環境への影響	少ない	案1より多い
	集落・市街地・主要施設等とのアクセス	集落や市街地部・主要施設などへの連絡性	現況と同じ	最寄りのICまでの距離が短縮
	広域ネットワークとしての対応	長距離交通と地域内交通の混在具合	混在する	分離される
		交差点等による停止・減速の可能性	一般道のため沿道からの出口（交差点）は残り停止・減速の可能性は残る	交差点がなくなるため、信号による停止はない
		広域ネットワークとしての機能	広域交通ネットワークとしての定速性に劣る	広域交通ネットワークとしての定速性は確保される
	経済性への配慮	工事の期間	短い	案1より長い
		工事による通行規制の多少	多い	少ない
		建設に要する費用	約170～220億円	約300～350億円
移転が必要となる家屋の数など		存在しない	わずかに存在する	

## 4. 計画段階評価手続きの進め方

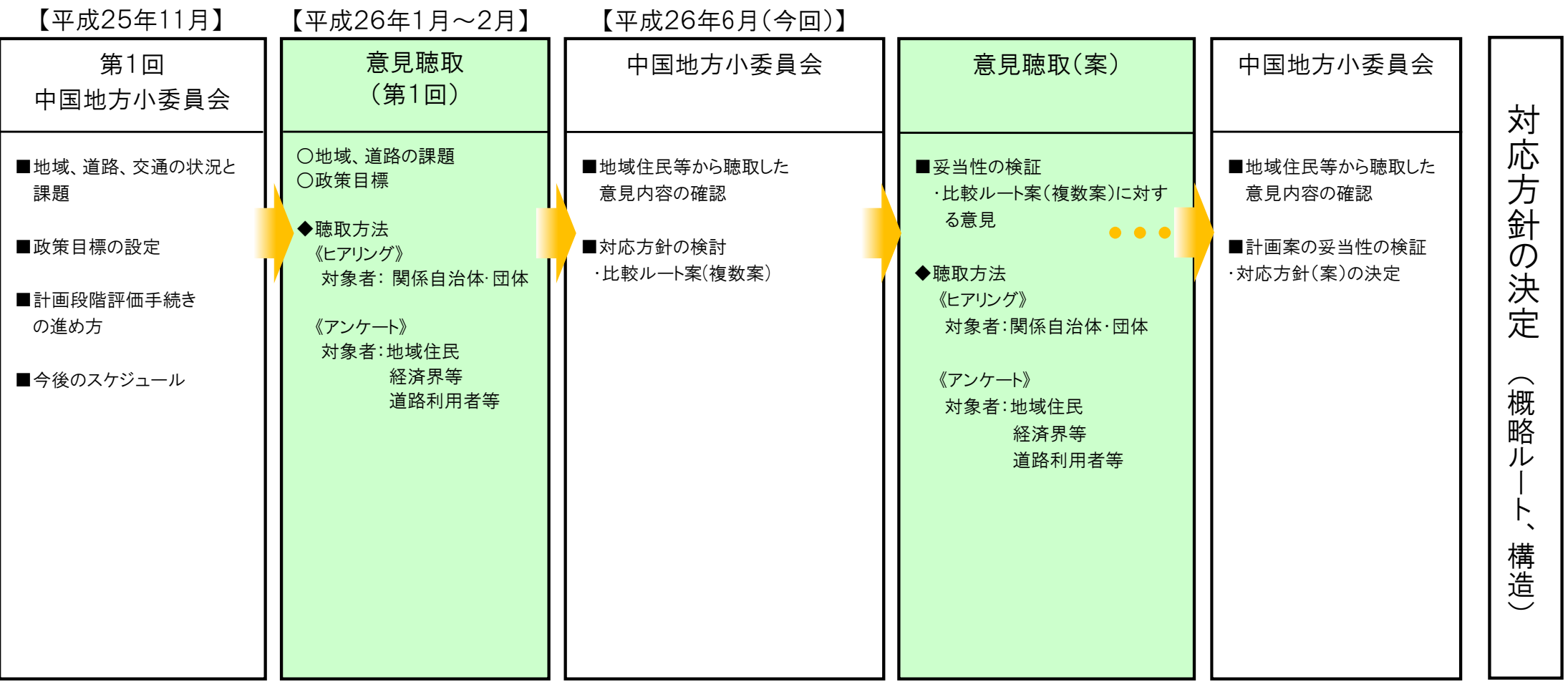


# 4. 計画段階評価手続きの進め方

## 1) 今後のスケジュール(案)

### 1. 計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略の計画案(複数案)〕について検討を行う。



対応方針の決定  
(概略ルート、構造)

地方小委員会

※各段階で随時自治体と調整

# 4. 計画段階評価手続きの進め方

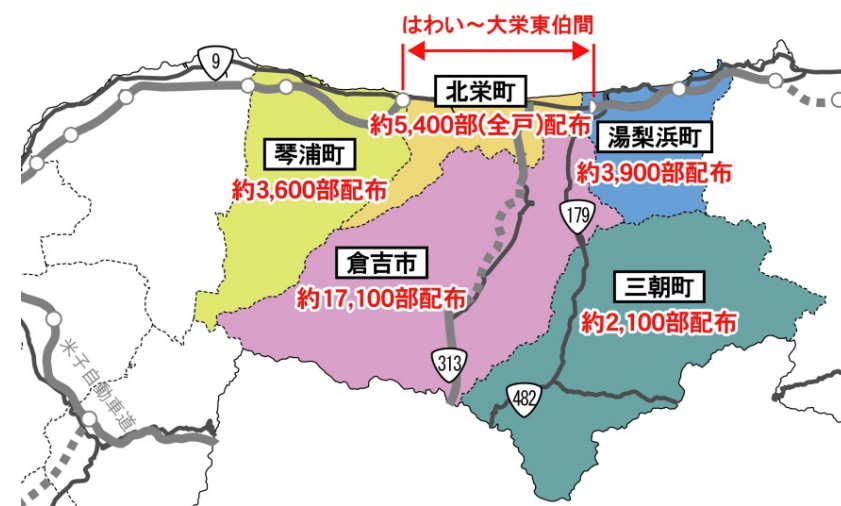
## 2) 意見聴取の項目・方法及び対象者

### 2. 意見聴取の項目

「対策案(ルート帯案)」、「インターチェンジ」に対する意見を伺う。

### 3. 意見聴取の方法と対象者(第1回と同様)

区分	実施項目	回答方法	実施概要	
アンケート	地域住民	郵送回収	倉吉市:一部配布	約 17,100 部
			湯梨浜町:一部配布	約 3,900 部
			琴浦町:一部配布	約 3,600 部
			北栄町:全戸配布	約 5,400 部
			三朝町:一部配布	約 2,100 部
			合計	約 32,100 部
	企業及び団体	郵送回収	県内企業:従業員数5名以上の企業・事業所	約 3,800 部
			県外企業:H24の社名読取調査で確認された企業及びトラック協会からの紹介	約 600 部
			合計	約 4,400 部
			小計	約 2,500 部
道路利用者	常設	郵送回収	道の駅、主要観光地及び自治体に常設(25箇所)	約 2,500 部
	ヒアリング	ヒアリング	道の駅等	
	WEB	WEB		
ヒアリング	広域	ヒアリング	関係団体にヒアリングを実施	
			①トラック協会(鳥取、島根、岡山、山口、兵庫、福岡、大阪)	
			②バス会社(鳥取、島根、岡山)	
			③観光会社(鳥根、鳥取、岡山)	
	④農協(島根)			
	地域		沿線自治体等にヒアリングを実施	
			①自治体(鳥取県、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町)	
			②警察署(倉吉、八橋)	
			③農協(JA鳥取中央)	
			④商工会議所(倉吉、三朝、湯梨浜、琴浦、北栄)	
⑤観光協会(倉吉、三朝、湯梨浜、琴浦、北栄)				
⑥消防(鳥取県中部ふるさと広域連合消防局、東伯消防署)				
合計		約 39,000 部		



# 5. 第2回アンケート案

# 5. 第2回アンケート案

## 1) 計画概要及び現状

### 1. 計画概要

- 本調査の主旨、前回アンケートの概要、調査対象箇所について説明。

### 2. 国道9号(はわい～大栄東伯)の現状

- 対象路線の沿線における道路課題および地域の課題について説明。

## 山陰道(はわい～大栄東伯)における道路計画に関する第2回 アンケート調査(案)

山陰道は、鳥取県鳥取市～山口県下関市までの延長約380kmの高規格幹線道路です。本調査は、山陰道(はわい～大栄東伯)の道路計画についてより皆様の生活に役立つ道路とするため、道路利用者の皆さまにご意見を伺う第2回目のアンケートです。

第1回アンケートでは、平成26年1月～2月にかけて「道路の課題」、「道路に求める機能・役割」や「道路整備の必要性」について、約11,900件のご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。今回の第2回アンケートでは、地域の課題を解消するためにふさわしい対策案となるよう、計画にあたって配慮すべき事項等についてお聞きします。前回に引き続き、本アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

### 国道9号(はわい～大栄東伯)の現状

#### 道路ネットワークと交通状況

- ▶ 当該区間は、高規格道路ネットワークにおいて鳥取県内で唯一、現在事業がなされていない区間です。
- ▶ 国道9号(はわい～大栄東伯間)の交通量は、約16,200台/日(大型車約4,200台/日)です。

#### 交通事故の状況

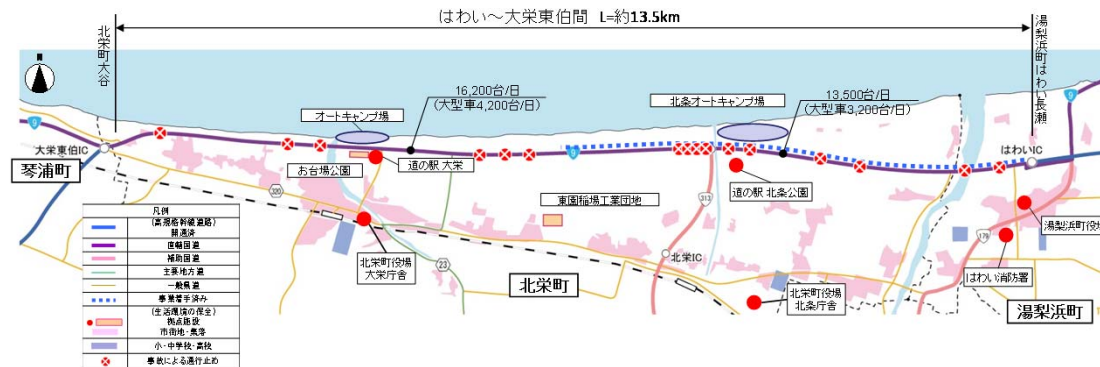
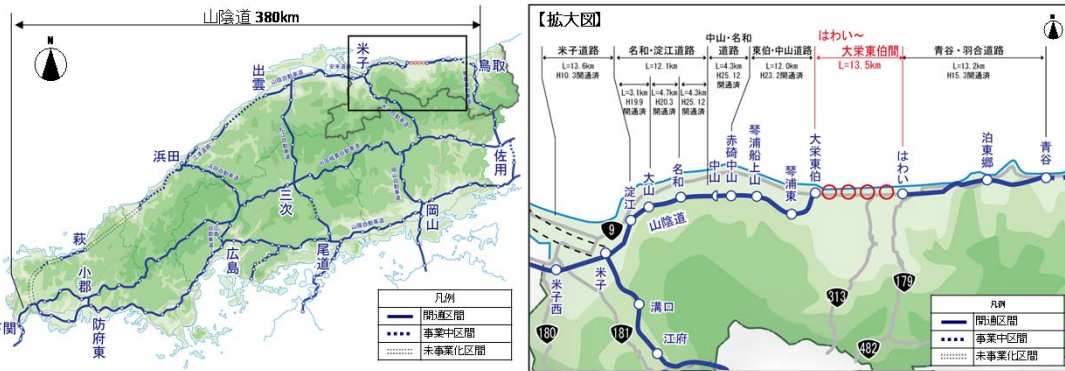
- ▶ 当該区間の交通事故の致死率は、中国管内の直轄国道平均と比べ約9倍と高く、鳥取県平均と比べても約6倍と高いです。
- ▶ 広域に通過する大型車両の混入率が2割と高く、重大事故に繋がる危険性が高い区間です。
- ▶ そのため、死亡事故の約6割で大型車が関与しています。
- ▶ また、死傷事故の約6割が交差点で発生しています。

#### 道路の構造

- ▶ 当該区間には、24箇所の無信号交差点があり、農耕車や自転車等の横断が存在しています。
- ▶ 無信号交差点で発生している事故の約4割が出会い頭による事故です。

#### 通行止めの状況

- ▶ 当該区間は、事故による通行止めが8年間(H17～H24)に16回発生。全面通行止めが約6時間に及ぶケースもありました。



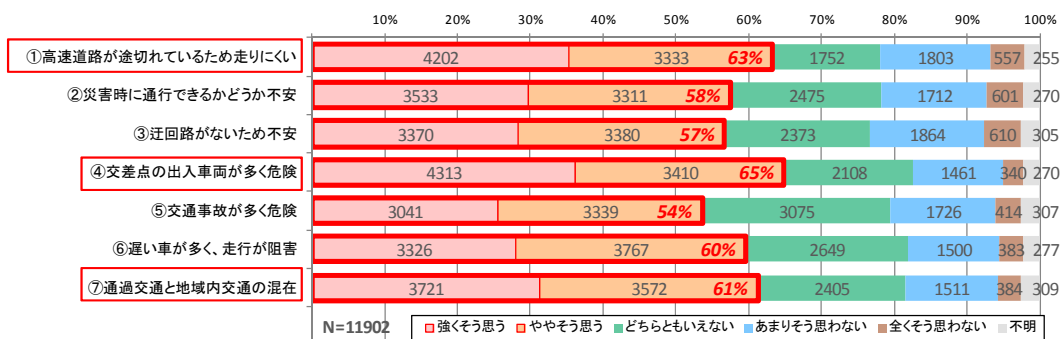
# 5. 第2回アンケート案

## 2) 第1回アンケート集計結果

- 第1回のアンケートの質問事項である「道路の課題」、「地域の道路に求められる機能・役割」について集計結果を説明。

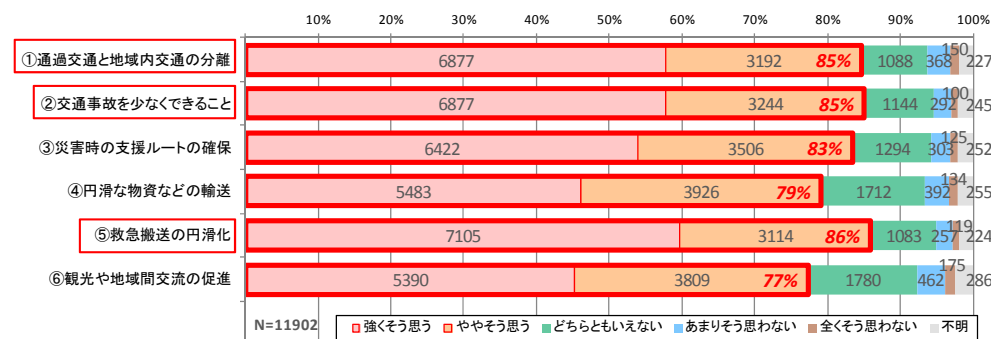
● アンケートには、地域住民の方々や道路を利用されるの方々などから、11,902件の回答をいただきました。

### 1. 国道9号(はわい～大栄東伯)の課題について



● 半数以上の方が全ての交通課題を感じており、特に「④交差点の出入車両が多く危険」「①高速道路が途切れているため走りづらい」「⑦通過交通と地域内交通の混在」という意見が多く挙げられています。

### 2. 地域の道路に求められる機能について



● 約8割以上の方が全ての機能に重要性を感じており、特に「⑤救急搬送の円滑化」「①通過交通と地域内交通の分離」「②交通事故を少なくできること」という意見が多く挙げられています。

## 5. 第2回アンケート案

### 3) 対策案の立案までの流れ

- 政策目標を達成する対策案の立案までの流れについて説明。

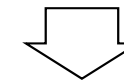
#### アンケート結果より求める声が多かった道路に求められる機能・役割

##### 【意見聴取を踏まえた道路の機能・役割】

- ◇通過交通と地域内交通の分離、交通事故を少なくできること
- ◇救急搬送の円滑化
- ◇円滑な物資などの輸送
- ◇観光や地域間交流の促進
- ◇災害時の支援ルート確保

##### 【政策目標】

- ⇒安全性の向上
- ⇒救急医療への速達性、確実性の確保
- ⇒産業の活性化
- ⇒観光振興の促進
- ⇒通行止め時に機能するネットワークの確保



《政策目標を達成する対策案》

##### 《ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント》

- 生活環境・自然環境の保全・調和
- 集落・市街地、主要施設等とのアクセス
- 広域ネットワークとしての機能
- 経済性の配慮

##### 【案1】

現道改良＋自動車専用道路案

既存計画区間(自動車専用道路)と  
現国道9号を改良(一般道)する案

##### 【案2】

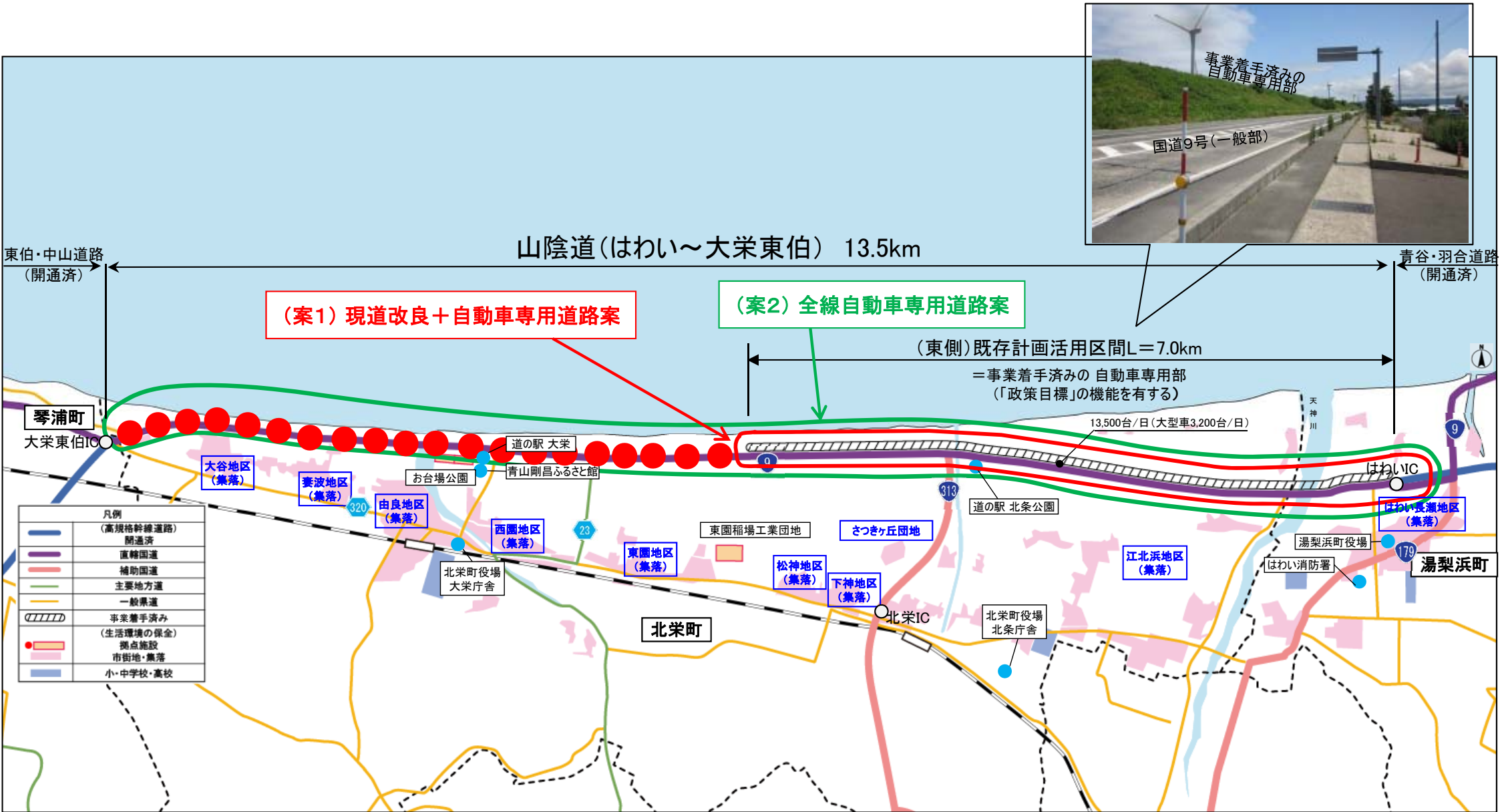
全線自動車専用道路案

全線自動車専用道路とした案

# 5. 第2回アンケート案

## 4) 対策案の概要

- 各対策案の概要と各評価項目における整備効果を図と比較表を用いて説明。



# 5. 第2回アンケート案

## 5) 対策案の評価項目

- 各対策案の概要と各評価項目における整備効果を図と比較表を用いて説明

山陰道（はわい～大栄東伯） 複数案の比較・評価（ルート帯の検討）

評価の項目			(案1) 現道改良+自動車専用道路案	(案2) 全線自動車専用道路案
ルート帯の概要			既存計画活用（自動車専用道路）と現国道9号（一般道）を改良する案	全線自動車専用道路とする案
			既存計画区間は80km/hで走行できる自動車専用道路 現国道9号改良区間は60km/hで走行できる一般道	80km/hで走行できる自動車専用道路
「政策目標」に対する評価	安全性の向上	事故が発生する可能性・危険性	事故が発生する可能性がやや高い	事故が発生する可能性は低い
		長距離交通と地域内交通の混在具合	混在する	分離される
	救急医療機関への速達性、確実性の確保	琴浦町から鳥取県立厚生病院（倉吉市）までの所要時間	少し短縮する	案1と大きな違いはない
	産業の活性化	境港へのアクセス時間（鳥取市～境港まで）	少し短縮する	案1と大きな違いはない
		企業誘致への貢献（工業団地（東園稲場団地）から最寄りICまでの距離）	現況と同じ	最寄りのICまでの距離が短縮
		産業・物流交通の走行性	交差点が残るため走行性は劣る	自動車専用道路による別線となるため走行性は良い
	観光振興の促進	主要観光地への立寄りやすさ	現況と同じ	最寄りのICまでの距離が短縮
	通行止め時に機能するネットワークの確保	通行止めの可能性や迂回の必要性	県道（生活街路）への迂回が必要となる	国道9号と自動車専用道路の相互に迂回利用が可能
「ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント」に対する評価	生活環境・自然環境の保全・調和	日本海の眺望等、自然環境への影響	少ない	案1より多い
	集落・市街地・主要施設等とのアクセス	集落や市街地部・主要施設などへの連絡性	現況と同じ	最寄りのICまでの距離が短縮
	広域ネットワークとしての対応	長距離交通と地域内交通の混在具合	混在する	分離される
		交差点等による停止・減速の可能性	一般道のため沿道からの出口（交差点）は残り停止・減速の可能性は残る	交差点がなくなるため、信号による停止はない
		広域ネットワークとしての機能	広域交通ネットワークとしての定速性に劣る	広域交通ネットワークとしての定速性は確保される
	経済性への配慮	工事の期間	短い	案1より長い
		工事による通行規制の多少	多い	少ない
		建設に要する費用	約170～220億円	約300～350億円
移転が必要となる家屋の数など		存在しない	わずかに存在する	



# 5. 第2回アンケート案

## 6) 質問事項

- 「対策案(ルート帯案)」、「インターチェンジ」について確認
- 「質問事項」と合わせて、自由意見や回答者の属性を確認

### 質問1 対策案(ルート帯案)を検討する際に、配慮すべき(重要)と思う事項

※別紙に示した「各ルート帯の比較」及び「各ルート帯の比較表」を参考にお答えください。

- 質問1-1 対策案の検討にあたって、どのようなことに配慮して計画するとよいと思いますか。あなたが重要と思う項目を、右記の①～⑦から2つ選んでください。
- ①通過交通と地域内交通を分離し、安全性を向上すること
  - ②交差点での出会い頭の事故が少ないこと
  - ③救急車両が早く、スムーズに目的地へ到着できること
  - ④高速道路が連続し、走行性が向上すること
  - ⑤国道9号の通行止めの際に迂回路となること
  - ⑥生活環境・自然環境への影響が少ないこと
  - ⑦整備費用を安くし、早く開通できること

質問1-2 質問1-1に示した7つの事項以外で、あなたが配慮すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

### 質問2 インターチェンジの設置を検討する際に、配慮すべき事項

- 質問2-1 インターチェンジの設置を検討する際、どのようなことに配慮すべきと思いますか？下記の①～④に挙げる4つの事項すべてについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。
- ①市街地(市役所、病院等)への連絡性が良い
  - ②主要な幹線道路との連続性が良い
  - ③道の駅や各種施設などの休憩施設や災害時拠点施設への連絡性が良い
  - ④観光施設など交流施設への連絡性が良い

質問2-2 質問2-1に示した4つの事項以外で、あなたが配慮すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

### 質問3 今後の道路整備等について

質問3 はわい～大栄東伯間の現在の国道の状況や、今後の道路整備等について、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

(表面)

郵便はがき

6 8 2 - 8 7 9 0

鳥取県倉吉市福庭町1-18

国土交通省 中国地方整備局  
倉吉河川国道事務所

調査設計第二課 行

〒687-0118

◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所	〒	県	市・郡	町
性別	① 男性	② 女性	年齢	歳代

◆国道9号(はわい～大栄東伯間)の利用状況について【該当する番号に○をつけてください】

Q. 現在の国道9号(はわい～大栄東伯間)の利用頻度を教えてください。  
 ① ほぼ毎日    ② 週2～3回程度    ③ 月2～3回程度  
 →①②③を選ばれた方は《下段》の質問へ

④ ほとんど利用しない    ⑤ 利用したことがない  
 →④⑤を選ばれた方は《裏面》の質問へ

Q. 国道9号(はわい～大栄東伯間)の主な利用目的を教えてください。  
 ① 通勤                    ② 通学                    ③ 家事・買い物  
 ④ 仕事                    ⑤ 観光・レジャー    ⑥ その他(                    )

Q. また、その行き先を教えてください。  
 ① 同じ町内    ② 琴浦町    ③ 湯梨浜町    ④ 倉吉市    ⑤ 三朝町  
 ⑥ 鳥取市    ⑦ 米子市    ⑧ その他(                    ) 《裏面》の質問へ

※)本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報情報は、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません

住(北)



# **【参考資料】 地域の将来像**

# 【参考】地域の将来像

- 鳥取県では、鳥取県の産業活動等の骨格となる高速道路網の整備を進めている。

## 鳥取県の将来ビジョン

### ■将来ビジョンの実現に向けた取組の方向性

みんなで創ろう「活力あんしん鳥取県」  
～心豊かな充実生活をめざして

I 【ひらく】地域で・県外で・国外  
で新時代に向かって扉をひらく

II 【つなげる】様々な活動・力を  
つなげ、結集して、持続可能で、  
魅力あふれる地域を創る

III 【守る】鳥取県の豊かな恵み・  
生活を守り、次代へつなぐ

IV 【楽しむ】いきいきと楽しみなが  
ら充実した生活を送る

V 【支え合う】お互いを認め、尊  
重して、支え合う

VI 【育む】次代に向けて、躍動す  
る「ひと」を育む

(1)地域の資源や技術を新しい発想  
で組み合わせて新しい価値や産  
業を創造～「コラボ産業創造構  
想」

(2)県民、企業、NPO、住民団体等  
が、自由にかつ連携して、自らの  
地域づくりに取り組む「真の協働  
連携社会」の実現

(3)定住人口の減少を食い止め、新  
しい住民が増加～「鳥取来楽暮  
(とっとりこらぼ)」

(4)中山間地域の住民生活の安全・  
安心を確保した「持続可能な地  
域づくり」

**(5)「交通基盤・情報基盤の充実」  
で利便性向上・地域の活性化**

(6)魅力があふれ、人が集う「にぎわ  
いまちづくり」

(7)地域の力となり、企業の利益に  
もつながら「企業の公益活動・社  
会貢献活動」

### ■取組の方向性

- 鳥取自動車道に加え、山陰道の全線供用、鳥取豊岡宮津自動車道、北条湯原道路、江府三次道路など地域高規格道路の主要区間の供用開始等、鳥取県の産業活動等の骨格となる高速道路網を整備します。(全ての居住地から高速道路のインターチェンジまでの時間を概ね30分以内にします。)
- 中山間地域の生活道路や産業集積地への道路、安全安心な道路(通学路等の歩道整備、**大規模地震等の非常事態に対応した交通の確保**を図るための緊急輸送道路等)など、**県民生活や地域振興などのために必要な道路を整備**します。
- 鳥取自動車道の開通と、JR・智頭急行等の利便性向上との相乗効果により近畿圏域、山陽方面、更には名古屋方面からの観光客が全体として増えるよう、キャンペーン等のソフト面、特急の増便などについて、行政、JRのほか旅行会社等の関係機関が協力・提携して観光客誘致活動への取組を進めます。

資料)鳥取県の将来ビジョン

# 【参考】地域の将来像

- 山陰道(はわい～大栄東伯)の沿線町では広域的な交流連携強化を目指した道路整備が進められている。

## 北栄町の将来像

将来像 人と自然が共生し 確かな豊かさを実感するまち

### <基本目標>

げんきなまちづくり

ゆたかなまちづくり

えがおのまちづくり

やさしいまちづくり

みんなのまちづくり

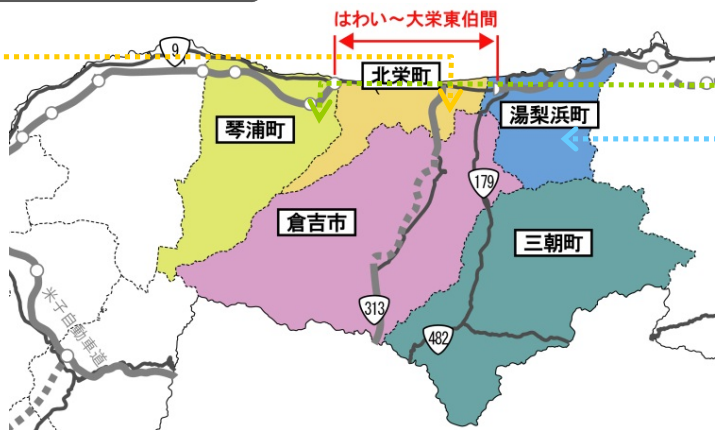
### ■交通基盤の整備

広域的な交流促進のため、高速道路へのアクセス向上が求められている

### 主要幹線道路の整備

- ・「北条湯原道路」の早期整備を周辺自治体と連携。
- ・「山陰道」の早期整備を周辺自治体と連携。
- ・「山陰道北条道路」の整備にあたり、**町内の観光施設が通過地点にならないよう**、インターチェンジ等の設置。

資料)北栄町まちづくりビジョン/平成23年1月



## 湯梨浜町の将来像

将来像 げんき・いきいき・かがやきのまち

### <まちづくりの基本目標>

1. 次代を担う心豊かな人が育つまちづくり
2. 未来を創造する先駆的なまちづくり
3. にぎわいと活力あふれる産業のまちづくり
4. 安全で住みやすく環境と共生するまちづくり
5. 共に支え合い笑顔いっぱいのまちづくり
6. 参画と協働による町民が主役のまちづくり

### ■交通環境の充実

・都市圏との経済・文化的交流の促進を図り、**地元経済の発展を推進していくために**、山陰道の早期全線開通。また、山陰道の整備により交通量の増加が予想されるため、交通事故防止の対策。

資料)第2次湯梨浜町総合計画/平成23年3月

## 琴浦町の将来像

将来像 自然と歴史が調和した心豊かなふるさと未来

### <基本理念>

自然と調和した住みよい環境のまち(生活環境)

希望に満ち健やかに笑顔広がるまち(人のこころ)

誇り高くみんなで作る共生のまち(地域社会連携)

### ■道路の整備

- ・町の産業・観光を振興し、活力あるまちづくりを進めます。
- ・一般国道9号東伯・中山道路への県道・町道等の接続道路や主要幹線道路の整備を環境に配慮しながら進め、**広域的な連携と地域の活性化**を図ります。

資料)第1次琴浦町総合計画/平成19年3月

# 【参考】地域の将来像

- 山陰道(はわい～大栄東伯)の沿線市町では広域的な交流連携強化を目指した道路整備が進められている。

## 倉吉市の将来ビジョン

将来像 愛着と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉

### <基本目標>

1. いきいきと働くことができるまち  
【産業】

2. いつまでも健やかに過ごせるまち  
【福祉・健康・人権】

3. 活気に満ち、豊かな心と文化が息づくまち  
【教育・文化・コミュニティ】

4. 安全・安心で快適に暮らせるまち  
【生活基盤・環境・防災】

### ■まちの骨格を形成する幹線道路網を整える

#### ○目指すべき姿

市内外を結ぶ主要な幹線道路網の整備が進められ、**鳥取県中部地域の中心都市として広域的な交流・連携**をしっかりと支える道路交通ネットワークが充実したまち。

#### ○現状と課題

・**広域的な交流・連携の促進**や交通混雑の解消に向け、今後も引き続き、倉吉市全体から見た緊急度・重要度に応じた幹線道路網の整備を進めていく必要があります。

資料)第11次倉吉市総合計画／平成23年3月

## 三朝町の将来ビジョン

将来像 心豊かで“キラリ”と光る町

### <基本目標>

はたらく

すむ

かかわる

つなげる

### ■道路、交通網の充実

#### ○目的と方針

・交通利便性のさらなる向上による町全体の発展可能性の拡大と、**町民生活の質の向上**に向け道路網の整備を促進するとともに、**交流の促進を視野**に、関係機関との連携を図り交通網の充実を目指します。

#### ○現状と課題

・…また、**観光客の交通アクセスの向上**を目指し、高速交通体系と連携した整備はもとより、**観光を主産業とする本町が全国や海外が身近に感じられるような環境となるよう**、関係機関と一体となりながら交通網の充実に向けて取り組んでいく必要があります。

資料)第10次三朝町総合計画／平成23年4月



### ○快適な暮らしと交流を支えるまちづくり

#### ①道路の整備

・**鳥取県中部地域の中核都市としての道路交通の骨格を形成する観点**から、山陰自動車道をはじめ広域的な高速道路網の整備を促進し、**関西や山陽地方へ連絡**する高速道路の形成を目指すとともに、市内を縦断する「**地域高規格道路※北条湯原道路**」や国、県道等幹線道路網の整備を促進します。また、住民生活における利便性、安全性などの向上を図るため、市道等の新設・改良を計画的に進めるとともに、安全施設の整備や除雪対策等に努め、快適で人に優しい道路空間の整備に努めます。

資料)新市建設計画／平成25年12月改定／倉吉・関金合併協議会

## 【参考】地域の将来像

内容		主要施策(抜粋)
<b>【鳥取県】</b> 鳥取県の将来ビジョン(H20.12) 『みんなで創ろう「活力あんしん鳥取県」 ～心豊かな充実生活をめざして』		<b>【交通基盤・情報基盤の充実】</b> ○利便性向上・地域の活性化のため、鳥取自動車道に加え、山陰道の全線供用、鳥取豊岡宮津自動車道、北条湯原道路、江府三次道路など、鳥取県の産業活動等の骨格となる高速道路網を整備。 ○大規模地震等の非常事態に対応した交通の確保を図るための緊急輸送道路等、県民生活や地域振興などのために必要な道路を整備。
<b>【北栄町】</b> 北栄町まちづくりビジョン(H23.1) 『人と自然が共生し、確かな豊かさを実感するまち』		<b>【交通基盤の整備】</b> ○広域的な交流促進のため、高速道路へのアクセス向上が求められており、主要幹線道路の整備。(北条湯原道路の早期整備、山陰道の早期整備、インターチェンジ等の設置)
<b>【湯梨浜町】</b> 第2次湯梨浜町総合計画(H23.3)		<b>【交通環境の充実】</b> ○都市圏との経済・文化的交流の促進を図り、地元経済の発展を推進していくために、山陰道の早期全線開通。 ○山陰道の整備により交通量の増加が予想されるため、交通事故防止の対策。
<b>【琴浦町】</b> 第一次琴浦町総合計画(H19.3) 『自然と歴史が調和した心豊かなふるさと未来』		<b>【自然と共に生きる環境のまちづくり】</b> ○町の産業・観光を振興し、活力あるまちづくりを促進。 ○広域的な連携と地域の活性化。
<b>【倉吉市】</b> 『愛情と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉』	第11次倉吉市総合計画(H23.3)	<b>【まちの骨格を形成する幹線道路網を整える】</b> ○市内外を結ぶ主要な幹線道路網の整備が進められ、鳥取県中部地域の中心都市として広域的な交流・連携をしっかりと支える道路交通ネットワークが充実したまち。
	新市建設計画(H25.12)	<b>【快適な暮らしと交流を支えるまちづくり】</b> ○山陰自動車道をはじめ広域的な高速道路網の整備を促進し、関西や山陽地方へ連絡する高速道路の形成を目指す。
<b>【三朝町】</b> 第10次三朝町総合計画(H23.4) 『心豊かで“キラリ”と光る町』		<b>【道路交通網の充実】</b> ○交流の促進を視野に、関係機関との連携を図り交通網の充実を目指す。 ○観光客の交通アクセスの向上を目指し、高速交通体系と連携した整備。